

DUO RECITAL

徳永 二男 & 伊藤 恵

デュオ・リサイタル

2023.11.25(土) 14:00開演(13:30開場)
関内ホール大ホール

日本を代表する徳永二男(ヴァイオリン)と伊藤恵(ピアノ)によるデュオ・リサイタル。
2001年にベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲をレコーディングしたこともある
息の合ったふたりによる名曲集をご堪能ください。



©ヒダキトモコ

徳永 二男(ヴァイオリン)

Tsugio Tokunaga, Violin

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。

1966年、当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。68年、文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学、ミシェル・シュヴァルベ氏に師事。76年、NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。長年ソロコンサートマスターとして抜群の知名度と人気を誇る。N響在籍時よりたびたび欧米から招かれる。94年にはN響を退団し、ソロ、室内楽に専念。92年より鎌倉芸術館ゾリステンを主宰。96年から宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て、2011年からは音楽監督を務める。ソリストとしては、モントリオール交響楽団やイギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団など、国内外の主要オーケストラと数多く共演。08年から、毎年東京でリサイタル・シリーズを行う一方で、トーク・コンサート、タンゴ・コンサートなど、幅広い演奏会を全国で行っている。15年ティボール・ヴァルガ・シオン国際ヴァイオリンコンクールの審査員を務める。16年には、楽壇生活50周年を迎え、文化庁長官表彰を受ける。近年は指揮者として、東京フィル、広島響、宮崎国際音楽祭管弦楽団などと共演。18年、ゴドン・クレメルをソリストに迎え、クレメラータ・バルチカと広響の合同オーケストラを指揮。20年のベートーヴェンイヤーには、仲道郁代氏とヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を行い好評を博す。21年、楽壇生活55周年を迎え、徳永を慕う多くの演奏家や弟子たちが国内外から集い、サントリーホールにて記念演奏会を行う。プラームス、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全集などCDを多数リリース。



©武藤章

伊藤 恵(ピアノ)

Kei Itoh, Piano

幼少より有賀和子氏に師事。桐朋学園高校を卒業後、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学、ハンノーファー音楽大学において名教師ハンス・ライグラフ氏に師事。83年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールで日本人初の優勝。サヴァリッシュ指揮バイエルン州立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。ミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響(現hr響)、ベルン響、チェコ・フィルの定期公演に出演。日本ではN響をはじめ、各オーケストラと共演。録音はシューマン・ピアノ全曲録音他多数。07年秋、シューマン・ピアノ全曲録音完成記念コンサートを行う。「シューベルト ピアノ作品集6」が15年度レコード・アカデミー賞(器楽部門)、第70回文化庁芸術祭賞を受賞。08年から15年までシューベルトを中心としたリサイタルを開催。18年からはベートーヴェンを中心としたリサイタルを開始。最新盤は「ベートーヴェン ピアノ作品集2」(フォンテック)。

93年日本シヨパン協会賞、94年横浜市文化奨励賞受賞。18年ジュネーヴ国際音楽コンクールの審査員も務めた。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。

横浜市市民文化会館
関内ホール
YOKOHAMA KANNAI HALL

〒231-8455 横浜市中区住吉町4-42-1 tel. 045-662-1221

JR「関内駅」北口徒歩6分/横浜市営地下鉄「関内駅」9番出口徒歩3分/
みなとみらい線「馬車道駅」5番出口徒歩5分

※駐車場はございません、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



やむを得ない事情により、曲目等変更になる場合がございます。また、会場内での写真撮影・録音・録画はお断りします。
発熱や体調不良時には来館や来場をお控えください。ご来場のお客様には、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。